

大館北秋田地域林業成長産業化協議会

第8回幹事会

協議記録

日時：令和3年4月30日（金） 14：00～15：00

会場：大館市役所比内総合支所 3階 301会議室

大館北秋田地域林業成長産業化協議会 第8回幹事会 出席者名簿

大館北秋田地域林業成長産業化協議会会員（幹事）

会員番号	区分	所属	役職・職名	氏名	備考
1	森林組合	大館北秋田森林組合	森林整備課長	阿部 昌宏	(総務) 部会長
5	素材生産者	(有)伊東農園	部長	佐藤 保	(再造林) 部会長
13		(株)石川組	(欠席)		(再造林) 副部会長
17	製材・加工事業者	(株)沓澤製材所	(欠席)		(秋スギ) 副部会長
20		二ツ井パネル(株)	代表取締役社長	鈴木 稔	(秋スギ) 部会長
21		古河林業(株)	秋田工場長	藤島 勉	(バイオ) 副部会長
23	木材需要者	大館曲げわっぱ協同組合	(欠席)		(秋スギ) 副部会長
24	木質バイオマス事業者	北秋容器(株)	(欠席)		(バイオ) 部会長
27	木材流通事業者	物林(株)	住環境システム部長	田口 慎二 (リモート)	(総務) 副部会長
			国産材営業部	関口 祐之	
28	学識経験者	秋田県立大学木材高度加工研究所	教授	高田 克彦	アドバイザー
			准教授	足立 幸司	
29	市村	大館市	産業部長	日景 浩樹	幹事長
			林政課長	古川 泰幸	事務局長
			林政課長補佐	小棚木 信晴	
			林政課木材産業係長	北林 諭	
			林政課木材産業係主査	大高 尚吾	
			林政課木材産業係主任主事	千葉 泰生	
			林政課木材産業係職員	安部 千夏	
30	北秋田市		産業部長	佐藤 栄作	
			農林課長	三沢 聡	
			林業振興係主幹兼係長	佐藤 誠	
			林業振興係副主幹	藤田 学	
			林業振興係主事	長岐 英泰	
31		上小阿仁村	産業課長	加藤 浩二	

大館北秋田地域林業成長産業化協議会オブザーバー

会員番号	区分	所属	役職	氏名	備考
/	オブザーバー	米代東部森林管理署	署長	一ノ宮 秀和	
			森林技術指導官	吉川 浩人	
		米代東部森林管理署上小阿仁支署	支署長	菅原 健一	
			広報主任官	菅原 実	
		秋田県農林水産部	主幹	木村 明憲	
		秋田県北秋田地域振興局	副主幹兼班長	岩谷 司	

第8回幹事会では、「令和2年度事業報告案、収支決算案」、「令和3年度事業計画案、収支予算案」について説明、意見交換を行いました。

【協議内容】

1 開会

2 あいさつ用紙<幹事長>

・本日の幹事会は、主に総会案件に係る議事として、令和2年度の事業報告案と収支決算案並びに令和3年度の事業計画案と収支予算案について協議させていただきたい。

・昨年度は新型コロナウイルス感染症により世界規模で様々な影響を及ぼし、林業・木材産業界へのダメージも相当なものとなった。当地域をはじめ、米代川流域の木材加工企業が次々に廃業、倒産に追い込まれたのは記憶に新しいかと思う。当協議会の会員においては、そのような事態にならなかったのは幸いなことだが、依然として厳しい状況にあり、これからが正念場になるのではないかと考えている。

・当協議会の最大の特徴である、行政、学識経験者、そして川上から川下までの事業体の産学官が連携する組織の機能を活かし、積極的な情報交換や事業活動を進めることで、国連の持続可能な開発目標、SDGsの理念「誰一人取り残さない」、そのような取り組みを継続して参りたい。

・大館市では2月に秋田県初となる「ゼロ・カーボンシティ」を宣言している。我々は、脱炭素社会に大きく貢献できる立場として、2050年に向けて何ができるか知恵を出していく必要がある。

・令和3年度は林業成長産業化地域創出モデル事業の最終年度となるが、5年間の成果を活かし、2050年に向けて何ができるか、何をすべきか、といった視点をもって1年間活動していきたい。

3 協議案件

(1) 令和2年度事業報告案、収支決算案

<事務局長>

・委託業務による都市部への木材利用に関するアンケート結果の分析、苗木生産マニュアルの作成、一貫供給システムによる原木価格の向上、渋谷区との連携による公共施設への秋田スギ製品の供給、林業成長産業化地域サミットへの参加、会員情報を発信するパンフレットの作成等について報告。

<事務局>

・幹事会、総会の書面開催、部会での作業システム検討会、企画提案書に関する意見交換会、苗木生産マニュアル作成等の協議会の開催について、ドローン苗運搬実証試験、スギ桶を用いたワークショップ、リモートによる林業成長産業化地域サミットへの参加等の調査・研究等について、地域構想の進捗管理、ホームページ保守業務、パンフレット作成等

の委託事業について、及び資格取得支援としての旅費支給等のソフト事業について報告。

・収支決算報告案について、収入総額、支出総額、差引残額を報告後、各項目について決算額のみ報告。決算報告後、会計監査報告について報告。

（2）令和3年度事業計画案、収支予算案

＜事務局長＞

・SDGsの目標達成やカーボンニュートラル実現に向け、基本方針に基づき掲げた6つの事項を主要な取組とする旨を説明。

＜事務局＞

・協議会の開催について、全体部会は2回程度とし、個別部会開催を増やし協議を進めていきたい旨を説明。また、時期未定だが今年度も地域サミットを予定している旨を説明。重点プロジェクト事業として、主伐・再造林一貫作業システムの実施、進捗管理等の委託業務、川上に焦点を当てたパンフレット作成業務について説明。

・収支予算案について、予算額のみ説明。

（3）意見交換

幹事長より各部会及びオブザーバーへ（1）、（2）の説明に対する質問・意見を含めて発言を求めた。

＜幹事 総務部会 部会長＞

・特になし。

＜幹事 総務部会 副部会長＞

・今年度実施するフィールドは、今までに比べ大きな面積であり、また、夏場の施業も初めてであるため、虫の対策等、現場の担当と緊密に打合せして慎重に実施していきたい。

＜幹事 再造林推進部会 部会長＞

・今年度、当社は皆伐再造林フィールドの施業を実施する予定である。総務部会と打合せを進めながら実施していく。

＜幹事 秋田スギ・認証材利用促進部会 部会長＞

・大型製材工場が能代に進出してくるそうだが、既存のサプライチェーンに大きな影響を及ぼす可能性がある。この協議会において今後に向けて議論していきたいと思っている。

＜幹事 木質バイオマス利用促進部会 副部会長＞

・能代に進出してくる大型製材工場について、バイオマス関連の取引も出てくると思われる。協議会として、ある程度受ける体制をとっていただければと思う。

＜幹事 北秋田市＞

- ・事業計画については、案のとおりで良いと思う。

＜幹事 上小阿仁村＞

- ・事業計画については、案のとおりで良いと思う。

＜オブザーバー 米代東部森林管理署＞

- ・先日入札があり、事業者が決まったところ。一緒に実施するシステム販売について、打合せを重ねていきたい。

＜オブザーバー 米代東部森林管理署上小阿仁支署＞

- ・事業計画について意見はないが、個人として、このモデル事業募集のときに局に在籍しており、モデル事業最終年度に関われることを光栄に思う。

＜オブザーバー 秋田県農林水産部 林業木材産業課＞

- ・モデル事業が最終年度になるが、取りまとめや成果についてどのようにするのか。

⇒＜事務局＞

- ・毎年度林野庁に報告している進捗状況の数値をベースにししながら、数値だけでは表現できない成果も含め取りまとめていく。また、成果について、協議会内部で共有を図るとともに、他地域・国・県に対しても周知していきたい。

＜オブザーバー 秋田県北秋田地域振興局 森づくり推進課＞

- ・今年度の事業計画について、モデル事業最終年度としての印象が薄いのではないかと。

⇒＜事務局＞

- ・モデル事業としては最終年度だが、協議会の取組が終了することを想定しておらず、モデル事業の成果を軸に次のステップに進んでいくことを意識している。今年度は、SDGs やゼロカーボンに進めるための一年として事業を進めていくことを目標にしている。

4 講評

＜アドバイザー 木材高度加工研究所 高田氏＞

- ・最終年度であるが、これまでと変わった取組を行うのではなく、これまでの実績を積み上げ、次のステージにどう繋げるかが重要となる。委託事業の受注者として取りまとめと次のステージへのスムーズな移行について協力したい。また、先に話のあった能代での企業進出については、懸念を抱いているのは承知しているが、軽々に発言するのは控えたい。むしろ、これまでこの地域で目標にして取り組んできた事が重要であり、進出企業によって考えを変えるのではなく、これまでの取組や地域の将来像を伝え、共存していくことが一番大事ではないかと思っている。

＜アドバイザー 木材高度加工研究所 足立氏＞

・このモデル事業は、大館北秋田の地域名が冠されているが、林野庁の目的としては、国全体の林業が活性化することである。地域をどう見るかで変わってくるが、現在は大館北秋田地域で盛り上がっている林業成長産業化の取組に、能代の進出企業を組み込めるようにしていれば、この5年間に取り組んできた成果の一つとなる。また、世界共通であるSDGsやカーボンニュートラルの概念を自分たちの問題に置き換え、地域と地球を繋ぎ、個々も発展する考えを話し合っていたきたい。

5 その他

＜事務局＞

・今年度の総会について、昨年度に引き続き書面決議とさせていただく。後日郵送するので、記載いただき返信を願います。また、総会の書面決議終了後、5月21日に全体部会の開催を予定しており、SDGsについて足立准教授に解説を行っていただく予定。

～ 閉 会 ～

大館北秋田地域林業成長産業化協議会 R3.4.30 第8回幹事会

